

# エリア ウエツブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2737  
FAX 0553-20-2733

回覧・配布をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想はこちらまで Email : saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

## 「釣りザオを買ってやるより・・・」

家庭教育に関する研究会で、常に話題となることがあります。それは、子どもの教育に父親の協力をどのようにして得るかということです。

「父親と一緒に過ごす時間の多い少年は、幸福感を抱き、自尊心や自信を持つ傾向にある」という話を聞いたこともあります。

父親の子育て参加の重要性は外国でも同様のようです。イギリスに「釣りザオを買ってやるより、いっしょに釣りに行け」という格言があるそうです。子どもの心をつかみたかったら、そして親子の絆を太くしたかったら、いっしょに釣りに行けということです。

多くの人は、子どものほしがるものを与えることで子どもは喜び、親子の絆もそれで太くなったはずと考えがちです。しかしこれは幻想に過ぎず、むしろ逆効果だといえます。このような買い与え体験が積み重なったまま子どもが成長していくと、子どもの心はいつしか親から離れてしまいます。

「父親の働きがあるからこそ家族の生活は成り立っているのだ。それだけでもありがたいと思え、感謝しろ。」という父親の言い分、子どもの心をつかめない父親の愚痴が聞こえてきそうです。

ある小学生の絵日記から、お父さんの子どもとの関わりを紹介しましょう。

夏休みの工作で、子どもが水鉄砲を作りたいと夕食で話しました。

父親は子どもと一緒に竹を伐りだして、その太い部分で筒を作り節の真ん中にキリで穴を開けました。それから、細い部分でピストンを作り、先っぽに布きれを糸でぐるぐる巻いて完成。

弟といとこの分まで作って、暑い日射しの下、汗だくになって水をかけ合い遊びました。

次に、お父さんは、竹を5分ほど半分に割って、節を取り、樋を作りました。この竹樋を段違いの台の上に置き、水道にホースをつないで水が流れるようにしました。

お母さんが用意した素麺を樋に流して「流し素麺」の完成。竹を削って作った箸とめんつゆの入ったお椀を手にして、流れてくる素麺を追いかけながら口に運ぶ昼食、それはそれは楽しい夏の日でした。

紙ヒコーキ、紙鉄砲、新聞紙を丸めてチャンバラごっこ、五段跳び、ろうそくカンテラでナイトウォーク、おはじき陣取り、ゴムボールで野球ごっこ、焼き芋、素焼き土器づくり、ちょっと近所へお使いサイクリング・・・

子どもとの遊びにお金は要しません。子どもがやりたいことを察知して、子どもの興味や関心を実現してあげることで子どもの心は充足されます。

幼少の頃、お父さん(お母さん)と活動した体験が多ければ多いほど、心豊かで創造性のある子どもに成長するでしょう。幼少時に親との楽しい時間を過ごした子どもは、思春期を迎えて難しい年頃になった時に、きっと心を開いて悩みを打ち明けてくれることでしょう。

そして、いつの日かわが子が親になったとき、自分がしてもらった楽しかったことを、その子どもにしてあげる日がきっと来るはずですよ。



## 「パパ・ママ体験講座」

笛吹市立浅川中学校

“NPO法人Happy Spaceゆうゆうゆう”による「Teen ager パパ・ママ体験講座」が、6月15日～18日の4日間、浅川中2年生を対象に開かれました。2年生4クラスが、家庭科「家族と家庭生活(幼児との交流)」の授業で、パパ・ママを体験しました。



### 【1時間目】 ~助産師さんの話~

赤ちゃんが生まれるまで

\* 赤ちゃんはお母さんのお腹の中で、羊水という水に浮かび、自由に動き回っています。お母さんの感情が羊水に反映して、リラックスし安定しているときには羊水は弱アルカリ性となって少し甘く、イライラや不安状態の時には少し苦味を感じます。

妊婦体験「妊婦体験ベスト(10kg)を着用して、歩いたり、屈んだりしてみよう」

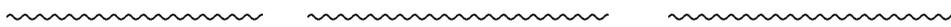
誕生「稚児人形を使って」

\* 赤ちゃんはお腹の外に出たくなると、ホルモンを分泌してお母さんに知らせます。ホルモンを受け取ったお母さんは陣痛が始まります。

稚児人形で、抱き方の練習

\* タテ抱っこ、ななめ抱っこ、お座り抱っこで抱いてみましょう。

\* 目線を合わせて、笑顔で話しかけるように抱きましょう。



### 【2時間目】 ~赤ちゃんを抱いてみよう、乳幼児と遊ぼう~

\* 親子ボランティア12組(お母さんと、生後2ヶ月から3歳くらいまでの幼児27人)が加わって、赤ちゃんを抱いたり、小さな子どもたちと遊んだりする。

\* “ゆうゆうゆう”のスタッフがマットや遊び道具を準備し、乳幼児の遊ばせ方を生徒に指導。

今回の事業を企画した理由を、“ゆうゆうゆう”代表の星合深妃<sup>みき</sup>さんに聞きました。

以前、若いお母さんを対象に子育てに関するアンケート調査を行った結果、子どもが生まれてうれしいけれど、お母さん自身、赤ちゃんを抱いたりあやしたりする経験が無いことに不安を感じているという声がありました。このことから、中学生、高校生の段階で、母親や父親になるための準備をしておくことが、より良い子育てのために必要だと実感しました。

家庭科担当の清水弘美先生に、NPO法人と連携した授業の意義を聞きしました。

中学生が乳幼児と関わる機会はきわめて少なくなってきました。そのため、「一緒に遊ぶなどの体験を通して、幼児への理解と関心を高めるとともに、幼児と適切に関わることができる」ことをねらいとしています。また、学校に来ていただけるので、学校の授業に合わせて、時間を有効に使えるメリットがあります。

### 生徒の感想から

\* 人間は小さな点ぐらいから「命」が始まる。私もその「点」から始まったんだなあ・・・と思うとなんか不思議な感じがした。お母さんにはその「点」の頃から育ててきてもらっているのだから、感謝しなきゃなあ・・・と思う。よく新聞で簡単に人を殺してしまったり、自分から命を絶ってしまうような記事を目にする。大切な大切なたった1つの命をそう簡単になくしては絶対にいけないと思う。「命」についての大切さを実感した。

\* お母さんたちがとても大事そうに赤ちゃんを抱っこしているのを見て、私もこんなふうに抱っこされていたのかなあ・・・と思い、なんかうれしかった。

\* 助産師さんのお話では初めて知ったこともたくさんあり、とても勉強になった。将来、ママになる時に役立つこともたくさんあった。妊婦体験では、予想以上に重くて歩きにくかった。

\* お母さんのおなかに弟がいた頃、「腰が痛いからさすって・・・」と言われていたのに、ちゃんとさすってあげていなかった。あの時、お母さんはつらかっただろうなあ・・・と思うと、ごめんなさいという気持ちになった。本当にいい経験になった。

## 峡東地区「子育て学習会」 7月2日(木)山梨市民会館

少子化や核家族化，子育ての不安や悩みの増加などに対処するために，山梨県教育委員会では，平成20年3月，「やまなし『親』学習プログラム」～わいわい子育て親育ち～を作成し，冊子として県下全ての幼・保育園(所)，小・中・高等学校に配付しました。

本プログラムは，誰でも気軽に講師役となって活用でき，参加者が楽しみながら主体的に学ぶことができる参加型学習教材となっています。



講師：極楽寺先生

そこで，第1回峡東地区「子育て学習会」は，本プログラムを参加者に体験してもらいながら，実際に様々な場面での活用と普及を目的としてワークショップ形式で行われました。

この学習プログラムの作成委員である，秋山教子先生と極楽寺真理子先生を講師に，114名の参加者が5～6人の小グループに分かれて，「楽しく運動！からだを育てる」，「家族の一員としての役割分担がありますか」という2つのプログラムを体験しました。



事前に「アイスブレイク」でリラックス

### 参加者の声(ふりかえり用紙から)

- \* 幼い頃から“家族ルール”というものがあり，皆で役割を分担して行っていれば子どもの“できる力”や自信がますます育っていくのではないかと思った。
- \* 様々な意見が出しやすく，井戸端会議的な話が盛り上がり，その中からいろいろなヒントが出てきてよかった。
- \* ワークがみんなで意見交換できる内容だったので，グループの人の考えがよく分かり，楽しい時間になりました。
- \* 各家庭での子どもに対する「しつけ」「接し方」がこれ程違うものなのかとびっくりしました。

「やまなし『親』学習プログラム」の冊子が峡東教育事務所にあります。必要な方はお問い合わせください。山梨県教育委員会のHPからダウンロードもできます。

## 「七夕まつり」と「グリーンカーテン」

あいおき  
相興保育園

取材に訪れると，プレイルームで，「七夕まつり」を題材にした手作りの人形劇に，園児たちが見入っているところでした。

・・・織姫は天の神様の娘で，機織の上手な働き者の娘でした。彦星(牽牛星)もまた働き者であり，天の神様は二人の結婚を認めました。めでたく夫婦となりましたが，楽しいあまり織姫も彦星も仕事をしなくなりました。このため



織姫と彦星

天の神様はおこって，二人を天の川を隔てて引き離してしまいました。しかし，年に1度，7月7日だけは会うことを許し，天の川にどこからかやってきたカササギが橋を架けてくれて会うことができました・・・。



ゴーヤのグリーンカーテンの前で

人形劇の後，床に広げた七夕飾りに，園児たちが，「もっと大きくなれますように」，「アンパンマンになりたい」などの願い事を書いた星を貼り付けました。

園庭には，グリーンカーテンのゴーヤが黄色い花と小さな実をつけ，涼しげな日影をつくっていました。

# 山梨園芸高校

~ 偉大なる伝統、刻む足跡 ~

## 緑をひろげる活動



### 【グリーンライフ】

農業の授業の一つとして、農業を通じ、地域との交流を深めるため行っています。本年度は“木ノ花保育園”の園児とともにサツマイモの定植を行いました。秋には収穫を行う予定です。



### 【山梨県庁 空中庭園】

課題研究として教育長室前のベランダに空中庭園を作成しています。毎年二回、夏の花と冬の花を植花しています。本年度はペゴニアと百日草を植花しました。



### 【金川の森公園 植花活動】

乗り物広場入口の花壇に、年二回、自分達が種から育てた花を植える活動を続けています。今年は6月10日にマリーゴールドを植えました。



全国高校放送コンテスト 山梨県大会

## 活躍する部活動



### 【山梨県総合体育大会】

#### <陸上部>

走り幅跳び 三井聖也(1年)6m69cm 3位入賞 関東大会出場

#### <バドミントン部>

ベスト8進出

#### <相撲部>

関東大会出場

団体戦 1回戦初勝利

### 【文化部】 <放送部>

第56回 NHK 杯全国高校放送コンテスト山梨県大会

・朗読部門 小田切瑞穂(3年) 6位入賞 全国大会出場権獲得

・テレビドキュメント部門

3位入賞 全国大会出場権獲得

#### <写真部>

2009年春期競写会個人

・田辺篤(1年) 『パラレルワールド』 入選

・清水杏理沙(1年) 『思い』

石原祐希(1年) 『試練を終えて』

金井達也(1年) 『ヒ・ミ・ツ』

和田艶珠(1年) 『一瞬の形』

早川雄介(3年) 『頑張って』

渡辺貴也(3年) 『この葉』 以上 佳作

### 【すいれき太鼓部】

『高等学校総合文化祭郷土芸能部門』

7月31日より三重県伊賀市文化会館にて

#### 【放送部】

『NHK 杯全国高校放送コンテスト』

・朗読部門 小田切瑞穂(3年)

・テレビドキュメント部門

7月22日より

東京都国立オリンピック記念

青少年総合センターにて

#### 【二輪車安全運転大会】

・武川健太(3年) 高校生等クラス優勝

・水石麻耶(3年) 女性クラス準優勝

山梨県大会にて上記成績を納め、

8月1日より三重県鈴鹿サーキットにて行われる全国大会に出場します。

都合により、情報誌「エリアウェブ」8月号を休みます。